

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 26 日 作成

事務事業名		庁議運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務企画部	課長名 後藤一男
	施策	24	行財政改革の推進		所属課	総務課	担当者名 本田康裕
	基本事業	82	効果的な組織運営		所属班	総務・男女共同参画班	(内線) 1212
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : 11 コスト削減優先度評価結果 : 6
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	本市行政の基本方針及び重要施策を総合的に審議し、かつ、その推進に当たって相互の連絡を密にし、もって本市行政の適正な執行を図るための庁議の運営を行う。 庁内の最高決定機関として以前から課長会議や重役会議などと称されて、毎週行なわれていたが、合併により庁議としてメンバーを部長級などとして開始された。 部長制となって課長クラスの会議が部長クラスとなり、メンバーも18人から14人となった。
【業務の流れ】	定例(毎月1日及び15日)及び必要に応じて臨時庁議を開催し、庁議開催及び議題等の提出通知(イントラ)、庁議前日又は当日朝、三役、総務企画部長、総務課長で打ち合わせ、資料配布、司会進行(総務課長補佐)、議題進行(総務企画部長)、議事録作成、決定事項等の職員への周知(イントラ) なお、15日の庁議では各部局で行なっている事務事業で現在課題・問題点となっている事項についての協議、主要事業年間スケジュールの報告あり。
【主な予算費目】	人件費のみ
【意見や要望】	決定事項や指示事項の周知徹底がなされていない。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
庁舎内の議決機関として、市長以下14人の庁議メンバーによる会議を定例会として月2回開催し、議題等の決定を行なう。	21年度の活動を継続する。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 庁議回数	回
	イ 議題の数
	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標
庁議	(単位)
	⇒ ア 開催した庁議の回数
	⇒ イ
件	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標
適正に運営される。	(単位)
	⇒ ア 運営された庁議の割合
	⇒ イ
	%

*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠
 開催回数は従来通り月2回の開催として設定し、議題については一昨年度に比べて昨年度が極端に減少したことから昨年度の50%増の20件として設定した。また、成果指標は、これまで予定通り月2回の開催を行っていることから100%実施できる見込みである。

(2) 各指標・総事業費の推移

	単位	19年度	20年度	21年度	21年度	22年度	23年度	24年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込
④ 活動指標	ア 回	24	26	24	26	24	24	24
	イ 件	43	47	50	13	20	20	20
⑤ 対象指標	ア 件	24	26	24	26	24	24	24
	イ							
⑥ 成果指標	ア %	100	100	100	108	100	100	100
	イ							
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	繰入金	千円						
	一般財源	千円						
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円							
(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件費	正規職員従事人数	人	2	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	450	400	400	300	400	400
	(B)人件費計	千円	1,787	1,600	1,592	1,194	1,592	1,592
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,787	1,600	1,592	1,194	1,592	1,592

総トータルコスト
 全体計画
 ~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0
0
0

事務事業名	庁議運営事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	--------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

特になし。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>現状維持で問題なし。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持			△		低下			△
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	△																			
	維持			△																			
	低下			△																			
<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																							